
総合美術コースの学生が 山形市野草園のサインをリデザイン 植物の学びが広がる教育普及コンテンツも制作し 4/1(水)より同園で公開

東北芸術工科大学（山形市上桜田／学長 中山ダイスケ）美術科 総合美術コースでは、今年度、瀬戸けいた准教授（2026年3月末退任）のゼミ所属の学生が、山形市野草園と共に教育普及プログラム『ざおうとやそう※』を開発し、園内外で様々なプログラムを行ってきました。

※「自然と人間の共生」をテーマに、植物の美しさ、面白さ、いのちの大切さを、四季を通して体感できる植物園・山形市野草園の魅力、アート・デザイン力で園内外に発信するプログラム。山形市野草園と本学美術科総合美術コースの学生によって運営されている。

今年度制作した、山形市野草園の野草について楽しく学べるカードゲーム「ハナノナ」に次いで、来年度は「みつけるやそう」というプロジェクト名で展開されることとなり、この度、エントランスサインのリデザインを中心に、ゼミ所属の3年生（新4年生）による演習が行われました。

「みつけるやそう」では、園のエントランスサインの再整備をはじめ、園内マップやボタニカルロゴのグラフィックデザイン、掲示板のリデザインを通して、より親しみやすく分かりやすいサイン計画を行っています。さらに、部位の拡大画像で紹介された植物を実際に園内で見つけるプログラム「ミクロな視点」も設置・配信。複数のコミュニケーションツールが連動し、自然や植物への学びが広がる教育普及コンテンツとなりました。



写真)リデザインした掲示板・案内マップと携わった学生

この「みつけるやそう」が、4月1日（水）より山形市野草園で公開されます。本学学生の取り組みについて、多くの方にお知らせたく、ぜひご来園のうえ取材・広報のご協力をお願い申し上げます。

■『ざおうとやそう』ランディングページ <https://www.yasouen.jp/zao-yaso/>

■「みつけるやそう」(4/1～) 場所：山形市野草園（山形市神尾 832 - 3）

新園内 MAP 園内情報を検証・整備し、視認性が高く親しみやすいインフォグラフィックを再構築しました。

植物のピクトグラム 園を代表する植物を、簡素で分かりやすい図案にデザインし、マップから教育普及ツールに至るまで横断的に使用。来園者の植物への興味関心を高める仕組みを設計しました。

サイン躯体のリニューアル 掲示板と案内マップ、2つの老朽化したサインを、塗装やカットニングシートを施してリデザインしました。躯体は、風、木々、葉、木漏れ日を感じるグリーンラインを基調としたラッピングに。掲示板はマップデザインと調和した仕様に。園内で採れた実物の木の実をマグネットとして使用しています。



教育普及パンフレット 園内の植物や生き物の拡大した画像を用いて、植物や生き物の学びを深める教育普及パンフレット「ミクロナ視点」をデザインしました。園内で配布すると同時に、オンラインでも配信されます。園内マップと連動しており、春夏秋の各季節に新たなページがリリースされます。



■本件に関するお問い合わせ・取材申し込みについて

本学学生への取材が可能ですので、ご希望される場合は、下記の法人企画広報課までご連絡をお願いします。